



R7_学校だより

眉丈の丘 第8号

学校メールアドレス

rokusei_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

令和7年7月14日発行

中能登町立鹿西小学校

TEL 72-2019

FAX 72-2094

校長 笠松 幹生

めざす児童像：進んで学び、よく考える子 思いやりのある心豊かな子 心身ともに健康で、粘り強く取り組む子

一学期間 ありがとうございました

一学期が終わります。「一日生きることは 一歩進むことでありたい」の校訓を基に、「一日一つずつ、新しくできること分かることを積み重ねていこう（＝自分を磨き上げる）」と熱弁した始業式から72日間の歩みでした（7/18までの日数）。

一日一日の新たな学びの他に、苦手だったことが少し分かってきて自信がついた、分からなかったことが分かるようになった（生活面のできるようになったこと）等、その子なりの“一歩進めた”が72こ（以上）あったことと思います。



I 避難訓練＋引き渡し訓練「ご協力 ありがとうございました」

6月25日に行いました。①地震発生に伴う対応訓練 ②火災発生に伴う避難訓練 ③児童引き渡し訓練 全てを関連付けて指導しました。私は子どもたちに“自己指導能力”について語りました。災害発生時、周囲に大人がいない場面であっても、放送を聞き冷静に初期行動できるか？ 正しく避難行動ができるか？ 皆の安心安全は、一人一人の正しき行動あって成り立つ旨を話しました。



写真は、引き渡し訓練の様子です。①〔引き取り者〕受付をする

②〔引き取り者〕長子学年担当に受付表を渡す

③〔教職員〕児童に引き取り者の確認をする

④〔教職員〕児童を引き渡す の流れ。



引き取り者が名簿にない方であったり、「近所だから一緒に連れていくわ」と言われたりした場合（事前の連絡ある場合除く）は、学校から保護者に連絡させていただきます。確認がとれるまでは待機するようにします。訓練当日、急用で来校できなくなった方から連絡を受けました。事前連絡のお陰で、適切に児童を下校させることができました。

II 児童集会「全校で協同活動」

今年度は、全校集会後に児童集会を設けていきます。6月25日は、保健・図書委員会の発表もありました。児童の主体的な集会となるよう指導していきます。全員で心を合わせる活動！継続実施です。



全校で詩の暗唱(左) 4年生合唱披露(上)
※4年生は7月3日に町音楽会参加

Ⅲ 学習支援「裁縫：玉結び&玉止め 完璧！」

6月26日、着物リメイク会より5名の講師(右)をお招きして5年生が技能向上です！7月も3回来校していただき、ボタン付けや自分の名前を表現し、得意な子どもたちです。最後は小物作りまでレベルアップ！

今まで知らなかったことが新たな知識となり、できなかったことができるようになるって、大変すばらしいことですよね。子どもたちは“コツ”を学び、己の技術を向上させていました。写真は初回(6/26)授業開始直後の様子。



Ⅳ 学習支援「水泳レッスン (全学年)」

7日より、ノトアフィ트니스スクラブの先生を講師(右)としてお招きし始めました。1～3年生は2回、4～6年生は1回受講しました。

学年に応じた、また水泳能力に応じたきめ細やかな指導は大変ありがたいです。1年生は「息つぎ」の基本となる“コツ”を、段階的・体験的に学んでいました。写真は1年生(左)と2年生(右)の初回授業の様子。



課題を一つずつクリアしていくと、自分ができないことに直面(自覚)します。

例えば「水の中で、鼻から空気をブクブク出しましょう」と言われ、鼻をつまんでいる自分に気付く…といったことです。

自分ができていないことに気付く！なんて素敵な時間なのでしょう！そこで、子どもたちは考え、悩み、新たな目標を抱くことができます。水泳授業に限らず、「もうできないから嫌だ、やーめた」で終わってしまうことのなきよう、子どもたちが次のステップへの道を自分の力で歩み、挑戦していけるよう、励まし指導していきます。

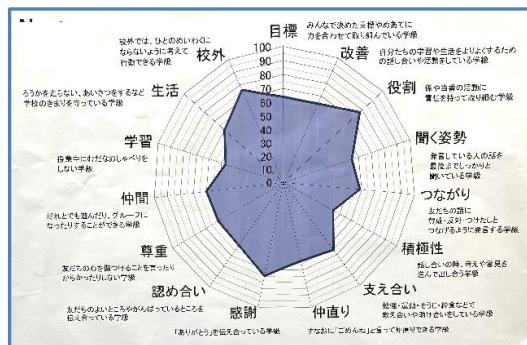


Ⅴ 学級をメタ認知する「目指すクラス像は？ そのために？」

“学級力”という言葉があります。学級の力とは？

児童一人一人の思いを集約することで、学級の現状を知ることができます(右)。学級の「強み」と「弱み」を学級の全員が把握し、よりよい学級創りのために、自分ができていることを考え実行するよう努力していきます。

この一学期、6月中旬に1回目の調査を行い、個々の目標を設定し、学級力向上に取り組む学年がありました。今後は、他学年も有効活用していきます。



【学級力】学び合う学級をよりよくするために、子どもたちが、常に支え合って目標にチャレンジし、仲間と豊かな対話を創造して、規律ある安心できる環境下で、協調的な環境を創り出そうとする力

♪ 寄贈の紹介「ASOBALL & バット」

日本ソフトボール協会をはじめ、各県のソフトボール協会の協賛により届けられました。昨年4月から一年間、全国級の大会開催会場に募金箱を設置し、選手や観戦者から多くのお心をいただいたということです。ありがとうございました。

主に、高学年の体育授業等で使わせていただきます。

